

福井県立恐竜博物館令和5年度企画展  
「THE 恐竜 in 福井 ～恐竜博物館を飛び出した恐竜たち～」

事業計画

1 開催趣旨

恐竜博物館は2023年夏のリニューアルオープンまで臨時休館となることから、GW期間中におけるリニューアルオープンおよび北陸新幹線福井・敦賀開業のPR活動、さらに福井県への誘客促進策の一環として開催する。

2 概要

日本最大の恐竜化石産地である福井県において、恐竜化石を発掘し、研究することの意義や重要性を主題に据える。そもそも恐竜とは何なのか、どのように生活し、進化・繁栄していったのかをわかりやすく解説するとともに、当館の特色であるアジアの恐竜に焦点を当て、恐竜研究におけるアジアの恐竜の重要性を伝える展示とする。

また、当館の常設展示リニューアルを踏まえて、生まれ変わる姿への期待感を高める工夫を随所に施す展示とする。

3 開催期間

令和5年4月21日（金）から5月14日（日）までの24日間

4 営業時間

午前9時から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）

5 事前予約制および事前決済

原則として恐竜博物館ホームページからの事前予約・決済制とし、観覧券の販売枠は午前9時から午後5時まで1時間毎に1千人を上限として、1日8千人とする。

ただし、上限に達していない時間帯は、当日券も販売する。

6 開催場所

福井県産業会館 1号館 （福井県福井市下六条町103番地）

7 展示・企画内容

展示は6つのゾーンに区分し、テーマ別に約150点の標本を展示する

(1) 恐竜って何だ？

① 内容

恐竜とその他の爬虫類（トカゲやワニ・カメなど）との一番の違いは、足のつき方にある。トカゲは体の横に足が出るが、恐竜は直立歩行である。これにより活発に動き回れるようになり陸地で広く繁栄していったことを解説する。

## ② 主な展示物

- ・コモドオオトカゲ骨格（複製）
- ・デイノニクス全身骨格（複製）
- ・デイノニクス成体復元模型
- ・人体骨格（複製）

## (2) 恐竜研究のはじまり

### ① 内 容

「恐竜 (Dinosauria)」という分類が提唱されたのは約 180 年前 (1842 年) のことである。当時知られていないほど大きな爬虫類が、イギリスで発見された化石を元に復元されたが、その姿は現在の復元した姿とはかなり異なったものであった。その後、世界各地での新たな化石の発見により研究が進展していったことを解説する。

### ② 主な展示物

- ・イグアノドンの旧式生体復元模型
- ・イグアノドンの産状（複製）
- ・メガロサウルスの下顎骨（複製）
- ・ヒラエオサウルスの産状（複製）

## (3) 福井県の恐竜発掘

### ① 内 容

福井県勝山市は、手取層群という恐竜時代（前期白亜紀）の地層が分布していることと、30 年以上にわたり発掘を続けてきたため、国内最大級の恐竜化石産地となっている。このゾーンでは、手取層群の発掘の歴史と、地質や当時の環境について解説する。

### ② 主な展示物

- ・カガリュウの歯（複製）：手取層群初の恐竜化石。（越前市の中学生が石川県で発見）
- ・ワニ類の全身骨格（複製）：勝山市北谷町で恐竜発掘するきっかけとなった。
- ・北谷産の貝化石、植物化石
- ・発掘現場のプロジェクションマッピング

## (4) 実物大の福井の恐竜たち

### ① 内 容

福井県で発見され、研究されてきた恐竜たちが生きていた様子を、実物大の恐竜ロボットとジオラマで再現するとともに、それと対をなす骨格展示で個々の恐竜の研究意義を解説する。

### ② 主な展示物

- ・フクイラプトル（全身骨格とロボット）
- ・フクイサウルス（全身骨格とロボット）

- ・フクイベナートル（全身骨格とロボット）
- ・フクイティタン（復元骨四肢骨、各骨産状複製、ロボット）
- ・コシサウルス各部位（複製）
- ・スピノサウルス（ロボット）
- ・イクチオベナートル（全身骨格）

## （5）鳥への進化

### ① 内 容

恐竜と鳥の骨格が似ているため、鳥が恐竜から進化したことは、今から 150 年以上前に提唱されていたが、決定的な証拠が欠けていた。それは羽毛の存在で、1996 年、ついに中国遼寧省で羽毛の痕跡をまとった恐竜化石が発見された。

これ以降、主に中国で様々な羽毛恐竜や鳥の化石が発見され、恐竜から鳥への進化や飛翔能力の獲得過程などが解明されつつある。

最も原始的な鳥は始祖鳥だが、実は福井県からも、始祖鳥よりも一段階だけ進化した、かなり原始的な鳥の化石が 2013 年に発見され、2019 年に「フクイプテリクス」と名付けられた。こうした経緯を含めて、恐竜が鳥へ進化した過程を解説する。

### ② 主な展示物

- ・始祖鳥（産状複製、復元骨格）
- ・ハト（現生、骨格標本）
- ・フクイプテリクス（産状複製、復元骨格）
- ・中華竜鳥（産状複製、復元骨格）
- ・中国産羽毛恐竜と原始的な鳥の産状複製、復元骨格数点

## （6）アジアと世界の恐竜たち

### ① 内 容

アジアでは、日本、中国、モンゴル、タイなど各地で現在も恐竜化石の発掘が続けられており、全世界で発見される恐竜の約 3 割を占める。発見された化石の研究により、ティラノサウルス類や角竜類の進化と移動といった重要な新知見が得られている。こうしたアジア産化石の恐竜研究への貢献を紹介する。

### ② 主な展示物

- ・ティラノサウルス（ロボット）
- ・プウィアンゴサウルス部分骨（複製）
- ・山西省産アンキロサウルス全身骨格（複製）
- ・チンタオサウルス全身骨格（複製）
- ・スティラコサウルス頭骨（複製）
- ・トリケラトプス（生体復元）

## 8 講演会等

GW期間中、恐竜博物館研究員が日替わりで講師となる講演会（無料）を開催するとともに、ワークショップ（有料）を開催する。

9 入場料

休日 一般：1,500円、小中高：1,000円

平日 一般：1,000円、小中高： 700円

※未就学児は無料

10 主催

「THE 恐竜 in 福井」実行委員会

(福井県立恐竜博物館、(株)福井新聞社、福井放送(株)、福井テレビジョン放送(株))

11 観覧チケットの発売開始予定時期

令和5年3月1日(水)

12 目標入場者数

11万人